

中学校 2 学年

学習指導要領 中学校理科 第2分野 (4) 気象とその変化 ウ 日本の気象  
(ア) 日本の天気の特徴単元名等 学校図書2年「天気とその変化」 3章「日本の天気」  
2「日本の四季の天気を調べよう」梅雨の天気 p221

## teitenを活用した指導の内容

teitenが記録した画像により、

初夏、暖かい小笠原気団が勢力を増し始め、北側の冷たいオホーツク海気団などとぶつかり合うようになる。南北の気団は、勢力がほぼつり合って境界があまり動かず、日本列島付近に梅雨前線とよばれる停滞前線を生じさせる。

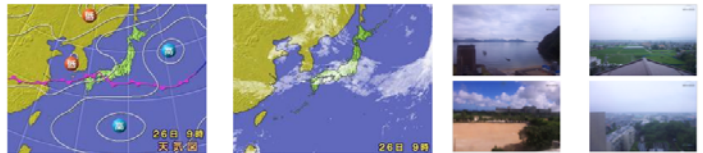
こうして、毎年6月～7月に起こる雨や曇りの日がおおい時期を梅雨という。

天気図や気象衛星画像などから、日本の天気の特徴を気団と関連付けてとらえること。

## 梅雨の天気

初夏、暖かい小笠原気団が勢力を増し始め、北側の冷たいオホーツク海気団などとぶつかり合うようになる。南北の気団は、勢力がほぼつり合って境界があまり動かず、日本列島付近に梅雨前線とよばれる停滞前線を生じさせる。

こうして、毎年6月～7月に起こる雨や曇りの日がおおい時期を梅雨という。



## teitenを活用した場合に期待される主な効果

○教科書の事例に加えて、teiten2000が設置された身近な観測ポイントにおける画像を使用し、梅雨の天気の特徴について、具体的な現象に気づかせやすくなる。

## その他

※全国19カ所の地点で教材を作成することが可能である。